



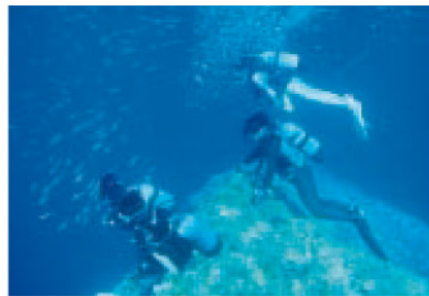
慶良間の海に憧れて 最高のエンターテイメント演出を！

コーラルダイバーズ 阿武 靖士



沖縄県の「サンゴの里海」慶良間海域。

サンゴの生育に神業的なベストの環境で形成された慶良間海域には多様な海洋生物が戯れる。昭和40年代後半、カツオ操業の衰退が影響し離村者が続出した。阿武さんとダイビング業との出会いは、大学在学中、慶良間海域でダイビングをしたのが始まりでした。ボンベを背負って海中を遊泳するダイビングは贅沢の部類。沖縄観光ではマイナーの存在でした。とにかく「慶良間海域の素晴らしさを多くの旅行者に伝えたい」



アルバイトの激務に明け暮れまの海水浴客から好評を得る中、ダイビングに関心を示すお客さんのニーズに因るため、昭和49年自らダイビングサービス創業を決議しました。最初は宿泊施設や交通路も乏しかった経営環境を「何もない良さ」として機会に変え、「世界で2番目にきれいな海」をキヤッチコピーに、地元の人たちと協力しあいながら、昨年創業30周年記念を迎えることができました。「ダイビングサービスは海だけではない」「お客さんはダイビングだけを楽しみに来てませんよ！」アプターダイブ時のログ付けで賑わうお客さんとの会話の中で阿武さんが語る。「サービスにはエンターテイメント性が必要です。」「ありきたりなダイビングポイントでなく、その日のお客様にふさわしいポイントや見せ方がある。」と顧客志向に徹する姿勢は、スタッフの動きを見ても理解できる。「お客様の命を預かっている仕事だから、オーナーが確固とした信念をもたなければ」と、若手ダイビング事業者へ訴える。今年6月には商工会地域振興の企画部門「観光推進委員長」に就任し、島最大の祭り「座間味村祭り」を取り仕切った。「海だけではなく陸域観光の魅力を引き出したい」地域全体のエンターテイメント創出にこだわる阿武さんの想いは、座間味村全体の課題でもあり、今年度商工会で実施中の小規模事業全国展開支援事業で体験メニューの内容を充実する計画です。



向かって左が阿武さん

と、大学卒業後は、本土から座間味島まで海水浴客の送迎のため、1日千キロ以上も移動する旅行業社

と、大学卒業後は、本土から座間味島まで海水浴客の送迎のため、1日千キロ以上も移動する旅行業社



と、大学卒業後は、本土から座間味島まで海水浴客の送迎のため、1日千キロ以上も移動する旅行業社

人事異動 (カッコ内は前職)

人事異動 (平成十八年七月一日)

豊見城市商工会事務局長 川満光行 (うるま市具志川合併推進室長)・県連副参事兼支援課長補佐

大城 満 (豊見城市商工会事務局局長)・豊見城市商工会経営指導員 前川 義統 (県連)・県連

支援課 比嘉 恵 (知念商工会記帳専任職員)・うるま市与那城商

工会経営指導員 古謝 厚三 (うるま市具志川商工会経営指導員)・

うるま市具志川商工会経営指導員 宮城 勝枝 (うるま市与那城商

工会経営指導員) 採用 (平成十八年九月一日)

糸満市商工会経営指導員 玉城直樹・県連嘱託専門指導員 上

原 真二 (平成十八年十一月一日) 伊平屋村商工会補助員 仲

本 有香 県連職員内部異動 (平成十八年

七月一日) 南城市地区合併推進室長 糸数

昌也 (支援課長)・支援課長 大山 俊雄 (支援課長補佐)

退職 (平成十八年八月三十一日) 糸満市商工会経営指導員 大城

清一 県連商工会指導員 山城 忠・県連嘱託専門指導員 幸喜

純夫 (平成十八年十月三十一日) 伊平屋村商工会補助員 玉那覇

誠子